

横断的取り組みの重要性訴え

縦割りを

こえて

日本を

元気に

米田雅子

地方の活性化なくして、「真の」日本再生はない



『縦割りをこえて日本を元気に』

●米田雅子 著

「地方の活性化なくして『真の』日本再生はない」との持論を展開する著者が、「建設帰農」「林建協働」「複業化」「異種の道」をキーワードとした省庁横断的な活動や地域での体験に基づき日本の現状を写し改善策を提案する。

著者は業種や省庁、自治体の縦割りを超え、水平的に連携していくことで、思いがけない解決方法にたどりつくことを自身の広域的な活動の中から例示。「地方創生」は地域や現場の自由な発想から

生まれると主張する。

第1章の「業種の壁をこえる」から「規制改革の縦割り」「官民の枠」「制度の壁」「国土の縦割り」、そして第6章の「東日本大震災における縦割り問題」と、それぞれの分野で弊害となっている縦割りを提起。強すぎる縦割りに対し横串をさす、横断的な取り組みを継続していくことの重要性を訴える。

米田雅子(慶應義塾大学特任教授、建設トップランナー倶楽部代表幹事)著、201ページ、定価(本体1850円+税)、中央公論新社刊。

刊

新

紹介

域や現場の自由な発想から